

## 令和4年度 第1回 政策調整会議 会議録(3)

- 
- ◆開催日時：令和4年5月23日(月) 10:30~10:50
  - ◆開催場所：第2委員会室
  - ◆出席委員：堤副市長、戎井副市長、大下教育長、西川総合政策部長、残総務部長、寺本財務部長、松下まちづくり推進部長
  - ◆説明者：貝口企画課長、中井政策担当長、前田主任、上田担当員  
山田都市計画課長、藤井都市計画担当参事
- 

### ◆審議事項

次期総合計画基本構想案

及び都市計画マスタープラン全体像・素案のパブリックコメントの実施について

・・・・・・・・・・・・・・・・・・企画課、都市計画課⇒承認

---

### ◆審議概要

◎付議依頼書等に基づき説明

◎説明後、質疑応答

〈堤副市長〉過去からのガラガラした事業継続のイメージを受ける「第5次」とか「次期」とかの言葉は使わず、市制施行100周年を機に、新しい岸和田市“新・岸和田”をつくるための新たな総合計画と都市計画マスタープランであることを前面に出すこと。また、市民が“幸せ”を感じる都市の実現という基本理念を一貫させること。マスタープランに使用する写真については、行政課題がわかりやすく、内容と関連性のあるものを選択すること。総合計画とリンクしていることをわかりやすく示すこと。

〈戎井副市長〉パブリックコメントの実施により、より一般的な目線で指摘事項が出てくると思うので、真摯に受け止め、わかりやすい表現に直していくこと。

都市計画マスタープランの9ページ「革新的技術」の項目の「自然・歴史・文化資源等を活かし、歩きたくなる空間形成」の記述は、ICT化やデジタル化が進む一方でリアルな体験が重要との趣旨を聞き、わかりやすい表現にするよう指示し、修正が行われ、改善されたと思うが、それでもパブリックコメントでわかりづらいという意見が出た場合には、改めて検討すること。

基本計画の80ページ記載の個別目標の方向性「まちのイメージを向上させる環境づくり」について、基本目標は「賑わいと活力を創造するまち」だが、まちのイメージには、教育や住環境等様々な要素が含まれるため、この書き方では範囲が広すぎる。観光資源等によるイメージ向上であると限定できる書き方にした方が良い。

〈教育長〉予定表に住民説明会とあるが、どのように開催するのか。

〈政策担当長〉6月10日からのパブリックコメントに合わせ、各市民センター及び福祉総合センターで各1日ずつ実施し、その説明内容と同じものを動画としても配信する予定。

〈教育長〉その際には、当日の説明会だけでなく、パブリックコメントでも意見を募集している

ことを周知すること。

資料4の総合計画審議会における主な意見について、「基本的な考え方として、コンパクトシティの考え方をとっていると考えてよいか」という意見に対し、「拠点プラスネットワークの考え方」と説明しているが、この「拠点プラスネットワーク」とは何か。国の示す「コンパクトシティプラスネットワーク」ではないのか。

〈政策担当長〉コンパクトシティという言葉を使うと、都市機能全てを都市部に集中させるという誤解を招く可能性がある。今回は、駅周辺等の道路結節点を拠点とし、居住地とをうまくつなぐことで市民の利便性を高めるという内容であるため、「拠点プラスネットワーク」という言葉を使っている。

〈都市計画担当参事〉国の言う「コンパクトシティ」は、居住空間そのものをコンパクトにするという考え方で使われることが多いが、本市で取り組もうとしているのは、まず、都市機能を集約し、そこへのアクセス性を集中できるようにするというもの。

〈総務部長〉都市計画マスタープランの8・9ページ「“新・岸和田”づくり」のポイントの方向性に「等」とあるが、配置の仕方がバラバラなので統一すること。

〈総合政策部長〉本案件について、原案を一部修正し、政策決定会議に諮ることとしてよいか。

【異議なし】

⇒本件、原案を一部修正のうえ承認し、政策決定会議に付議する。



付議会議	令和4年度 第1回会議
付議事項	次期総合計画基本構想案及び都市計画マスタープラン全体像・素案のパブリックコメントの実施について

★取組の目的

対象	市民
どのような状態を目指す	次期総合計画は、市制施行100周年を経て、次の”新しい岸和田づくり”をめざし、安心していつまでも住み続けることができる、個性豊かで魅力的なまちであるために、「笑顔にあふれ、誰もが”幸せ”を感じる都市」の実現を基本理念とします。市民や行政など様々な人が互いに協力しあい、総合計画に描いた将来像に向かってまちづくりを進めていきます。

★総合計画上の位置付け

202010201	基本目標	II-2 適正で、分かりやすい行財政運営をする
↑ここにコードを入力 (コードは「総計体系」を参照)	達成された姿	(1)行政の責務が果たされていることを市民が実感できている
	目指す成果	②明確な目標設定と評価により行政運営が行われている
	行政の役割	ア 目標の達成に向けて、計画的な施策の推進と適正な進行管理に努める

★現状と課題

<p>第4次総合計画では、21世紀型の新しい仕組みづくりとして、市民参加、地域経営の視点から、岸和田市自治基本条例の理念を具体化する役割を担う「市民みんなの総合計画」として位置付け、積極的な市民参加による総合計画の策定を実施してきた。次期総合計画では、地域自治、公民協働のさらなる向上をめざし、市民参加による策定過程を重視した計画づくりするとともに、まちづくり主体者の新たな連携の創出や多様な資源の活用など、少子、高齢社会における持続可能な地域づくりのための「みんなの総合計画」として策定していく必要がある。</p>
--

(単位:千円)

実施中の取組及び予定する事項	決算(見込額)		予算額	見込額				
	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
とことん懇話会の開催、基礎調査、アンケート調査、団体ヒアリング等の運営補助委託費【～令和3年3月末】	12,815	12,815						
とことん懇話会の開催、庁内検討会議及び総合計画審議会運営、地区説明会の開催等運営補助及び計画書の作成委託費【令和3年4月～令和5年1月末】		10,538	9,999					
次期総合計画印刷、配布、広報【令和5年1月～令和5年3月末】			2,833					
総合計画の進行管理	16	16	16	16	16	16	16	16
都市計画マスタープラン基礎資料及び策定支援委託費	1,920	2,260	1,400					
都市計画マスタープラン印刷、広報【令和5年3月～4月頃】			850					
財源内訳	国費							
	府費							
	起債							
	一般財源	14,751	25,629	15,098	16	16	16	16
	その他							
事業費			計	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
			80	16	16	16	16	16

★当該事項に関連する人員増の必要性\*

人員増の必要性	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
有					
	(無)				

★取組の効果を表す指標

指標名	単位	R2年度	R3年度	R4年度	目標値				
					R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
① 市民の声が市政に反映されていると感じている市民の割合	%	10	7.6						
② 市役所は目標の達成に向け、計画的に施策を推進していると感じている市民の割合	%	14.4	11.7						

※事業費及び人員を確約するものではない。